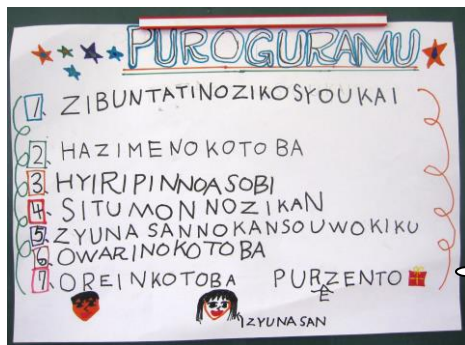


# 私の故郷の国(フィリピン)

6月24日(水)、フィリピン出身の講師・田守ジュナさんが、フィリピン紹介の講座と4年生の児童の皆さんとの交流のために、城北小学校を訪れました。

田守さんがフィリピンの民族衣装であられると、皆さん、そのあでやかな衣装にまず心を奪われたようでした。先生からのご要望があり、お話はフィリピン語と英語がほとんどでしたが、児童の皆さんは田守さんのジェスチャーや表情を見逃さないよう、一生懸命聞いていました。



クラスでの交流のプログラムをローマ字で作成してくれていました。

## <ジャック・ストーン>

スーパーボールをワンバウンドさせている間に、テトラポットのような形のものを取るという、フィリピンの遊び。



各クラスに分かれてからの交流の時間では、フィリピンの遊び「ジャック・ストーン」を体験しました。ここでも説明はフィリピン語のみでしたが、動作を交えて説明されたので、みな説明をすぐに理解して遊び始めました。田守さんがお手本を見せた時には、簡単そうに見えたのに、いざやってみると大苦戦。田守さんにアドバイスをしてもらいながら、何度もトライするうちに成功する人も出てきて、大歓声があがりました。

児童の皆さんは、この日のためにフィリピン語を調べたり、質問を考えたりしてくれていたようで、交流会の後で質問タイムがありました。英語や日本語で質問してうまく答えを聞くことができると、みな笑顔になっていました。

講座後、「自分たちがフィリピン語で話して、ジュナさんが笑顔になってうれしかった。」「ジュナさんと話して勇気をもらった。」などといった感想が出ました。

